

谷川さんの詩をじっくり味わう

法中校長室通信



R6,11,22

文責:船越 路央

未来へ 谷川俊太郎

道端のこのスミレが今日咲くまでに
どれだけの時が必要だったことだろう
この形この色この香りは
計り知れぬ過去から来た
遠く地平へと続くこの道ができるまでに
どれだけのけものが人々が通ったことだろう
足元の土に無数の生と死が埋もれている
照りつけるこの太陽がいつか冷え切るまでに
目に見えないどんな力が働くのだろう
私たちがまたその力によって生まれてきた
人は限らないものを知ることではできない
だが人はそれを生きることができ
限りある日々の彼方をみつめて
未だ来ないものを人は待ちながら創っていく
誰もきみに未来を贈ることはできない
何故なら「」が未来だから

※合唱曲「未来へ」より抜粋

ラストの1行【】に入る言葉を考えてみましょう。すでに詩の中に一度登場する言葉…といえば「きみ」です。「君が未来」というフレーズ、ぐっときますね。ぜひじっくりと味わってほしい詩です。



「3 年学力診断テスト」に挑戦!・・・されませんか?

以下は、11 月 8 日(金)に開催された標記テストの一部を、一問一答式に改作したものです。ぜひ中学生時代を思い出してチャレンジしてみてください。一問 20 点×5 問(100 点)ではいかがでしょう。下に答えがあります。

- 第 1 問(国語) 「被害」と同じ熟語の組み立てはどれか答えなさい。①辞意 ②濃淡 ③腹痛 ④点灯
- 第 2 問(数学) $2\sqrt{5}$ より大きく $3\sqrt{5}$ より小さい整数をすべて答えなさい。
- 第 3 問(社会) 年代の古い順に並べなさい。 ①ロシア革命 ②日露戦争 ③ワシントン会議
- 第 4 問(理科) 弦が振動して音が出る時、弦の振動の幅のことを何というか答えなさい。
- 第 5 問(英語) 「日本での生活を楽しんでね。」を 3 語～10 語の英語一文で書きなさい。



ほっとけないよ・・・! ～担任時代の思い出～



東部の中学校で、2 年生の担任をしていた頃の思い出です。11 月の文化祭、「合唱コンクール」の時でした。課題曲の「モルダウ」終盤で、ピアノ伴奏の S さんが突然演奏をやめてしまいました。「緊張で頭が真っ白になった・・・。」と後で語ってくれましたが、とうとう最後まで弾けずに曲が終わってしまいました。そして自由曲ピアノ演奏の生徒と入れ替わるように、S さんは舞台上に上がりました。ソプラノ担当だったので、2 列の前列に並んだ S さんは、ずっと顔が挙げられずに下を向いています。

その時、S さんの気持ちを悟った真後ろの H さんが、その子を背中に隠すようにして瞬時に入れ替わりました。歌が苦手どころか、人前に出ることも極端に嫌がっていた H さんでしたが、今にも泣き出しそうな S さんをほっとけなかったのでしょう。

あれから年月が流れ、32 年後。先日、H さんの結婚式に主賓として参列させていただいた際に、そのエピソードを参列者に語りました。本人は照れながら、あまり記憶がないと言っていました。担任だった私は、鮮明に、その凛とした姿を思い出します。

生徒の
名言

■涙・涙の講演会でした! しっかりと生きようと強く思いました。(mon さん人権講演の感想より)



1. ④ 2. 5.6 3. ②→①→③ 4. 振幅 5. (Please) Enjoy your life in Japan.